

# 「STOP地球温暖化！なぜ今排出量取引か？」

- 基調講演** **鈴木基之** (中央環境審議会会長・放送大学環境工学教授  
・国際連合大学特別学術顧問・工学博士)
- パネリスト** **小島延夫** (東京弁護士会公害・環境特別委員会委員)  
**鈴木基之**  
**武川文士** (東京弁護士会会員・環境省「国内排出量取引制度検討会」委員)
- コーディネーター** **岡村 堯** (第二東京弁護士会環境保全委員会委員・上智大学名誉教授  
・地球環境経済研究機構理事長)

産業革命以後、先進国は、エネルギー源としての化石燃料を大量に消費することにより、大量の温室効果ガスを大気中に廃棄してきた。そのため、地球は温暖化し、人類の生存基盤さえ脅かされ始めている。人為的に排出されるCO<sub>2</sub>の半分は植物や海に吸収されるが、残り半分は大気中に蓄積され続けている。この半分以上を削減しない限り人類に未来はない。

温暖化対策の一つとして、EUは2005年域内排出量取引制度を開始した。東京都も国にさきがけ2010年度からキャップ・アンド・トレード方式の排出量取引制度を導入する。排出量取引制度は温暖化対策として本当に有効か？どのような制度にするべきか？今、最もホットな排出量取引を考える。

日時 2009年

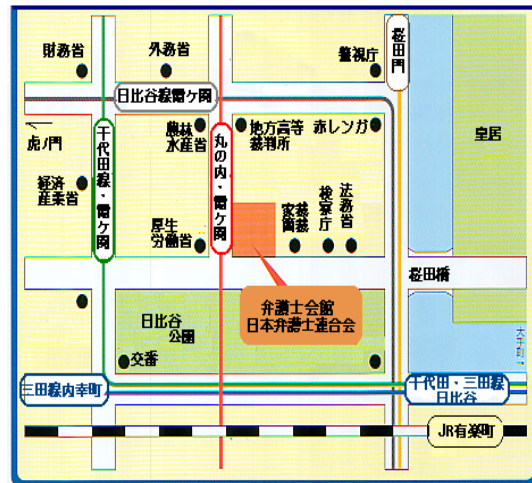
**9月10日(木)**

午後6時～8時  
(開場 午後5時40分)

会場 弁護士会館

3階301ABC会議室  
千代田区霞が関1-1-3  
(最寄駅：地下鉄「霞ヶ関」駅  
B1-B出口直結)

**参加無料・事前申し込み不要**



- 主催 東京弁護士会・第一東京弁護士会・第二東京弁護士会  
後援 日本弁護士連合会  
問合せ 第二東京弁護士会 人権課 TEL: 03-3581-2257  
東京都千代田区霞が関1-1-3 <http://www.niben.jp>